

## 上川【中富良野町】

こじま みよこ  
小嶋 美代子さん NPO法人エフ・コレクティブ 理事長

1968年京都市出身。  
IT企業に技術者として大規模システム開発に従事、2014年からダイバーシティ推進室長として女性活躍を推進し、退職、独立。  
2022年末に中富良野町に移住、東京との2拠点生活を開始。働く女性を応援する「ふらの女性サミット」を創設した。



## 新たな挑戦を通じて、自分の成長を実感。

## きっかけ

30年くらい同じ会社で働いていたのですが、親の介護や自分の社会活動との両立を考えた時に、会社に認められた範囲内で働くのではなく、自分の意思で物事を判断して可能性を広げていきたいと思い、会社を辞めて「アワシャーレ」を立ち上げました。その流れの中で、リーダーとして活躍する女性の方々とつながりを持ち、お互いに学び合っていました。コロナ禍をきっかけに私が中富良野町へ移住したところ、とても良い環境だったので、この場所で仲間たちとイベントをしたいというアイデアが出ました。こうしてサミットを開催し、それがとても好評だったので今後も継続していきたいと思い、「エフコレクティブ」を立ち上げました。

## 苦労

私も含め、団体の立ち上げメンバーは皆、本州の都市圏で働いてきました。そのため地方で働く女性を取り巻く事情への理解がまだ不十分で、そのギャップを感じています。悩みごとや仕事に対する考え方は共通する部分もありますが、狭いビルと広い人脈の中で仕事をするのと、広大な土地と小さな繋がりの中で仕事をするとは、働き方が異なります。ただ、この違いを急いで埋めていこうとすると摩擦が生じてしまうため、まずは私たちが理解をすることから始めていきたいと思っています。サミットでも無理に地域の人を巻き込むことはせず、興味を持ってくれる人が来てくれたら歓迎するという、適度な距離感を大切にしています。

## 満足度

サミットの開催を通じて、全体を取りまとめるリーダーシップなど、自分には足りないところがたくさんあることに気が付きました。こうして自分と向き合い、伸びしろがまだあると感じられることがとてもうれしいです。また、会社員時代は組織として決められた基準や価値観があり、「アワシャーレ」は自分でその軸を作っていくことが出来たのに対し、「エフコレクティブ」はNPO法人ですから、メンバー皆で共通の目的意識を作っていくかなくてはなりません。そのため最初の1年はやるべきことがたくさんありました。ですが、一つの団体を立ち上げる経験は何回も出来るものでもありませんし、初めての挑戦をすることへの面白さや充実感がありました。

## これから

初めはサミットの参加人数や規模などを拡大していきたいと考えていましたが、私たちのミッションはサミットを開催することではなく、「複雑な現代社会を果敢に泳ぎぬく女性を応援する」ことです。ですから今後は、さまざまな人を巻き込みながら、サミットに込めたメッセージを別の形で伝えていきたいと考えています。たとえば今年は、マガジンやメルマガでの情報発信を始めたり、古典文学から現代の女性が抱える悩みを解決するヒントや自分を客観的に捉える手法を学ぶ講座を行いたいんです。私たちが当事者ですから、サミットを変化させながら続け、育てていくのと同時に、私たち自身も成熟していけたら良いと考えています。

北の★女性たちへの  
メッセージ

私たちは失敗や困難に直面しますが、その過程すらも楽しさ(Fun)に変えていける柔軟性(Flexibility)をもっています。ふらの女性サミットがつくる流れ(Flow)に乗って、仲間(Friend)と一緒に前進(Forward)しましょう。素晴らしい未来(Future)と幸運(Fortune)が待っています。